

こども新聞 週刊がほピョンプレス

毎週日曜発行
2022 4/3



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんな 子ども だった!?

24

バスケットボール男子Bリーグ2部で、シーズン真っ最中の仙台89ERS。チーム最年長で「ソルジャー」のニックネームで知られる片岡大晴選手(仙台市出身)に、子ども時代やバスケットの向き合い方を聞いたよ。

◇ 3人きょうだいの真ん中で、落ち着きのないひょうきんな子でした。バスケットの出会いが小学2年時。2歳上の兄がスポーツ少年団でミニバスケットボールを始め、「自

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

見えない所で練習重ねる

ボールを追い掛けるのが楽しく、すぐにはまりました。中学では部活とスポ少の両方に所属。で



も、チームは大して強くなかった。他の強いチームのまねをしたら強くなるんじゃないかと思

うまいわけでもなかったから、人の見ていない所で練習を重ねました。朝早く練習したり、帰り道に坂道ダッシュしたり。

「今にとらわれないで」と伝えたい。なかなか努力が実らなくても、それを真に受けて「自分は駄目」なんて思わないでほしい。人に笑われても気にせず、夢に向かって頑張ってほしいです。

分もやってみてみたい」と思うようになりました。

挫折ばかりでした。県選抜チームに選ばれても試合前日にメンバーから外されたり、高校で全国高校総体(インターハイ)

プロになってからも「どうしたら成長できるか」をいつも考えています。年を重ね若い選手と同じようにはいけな

子ども新聞読者には「今にとらわれないで」と伝えたい。なかなか努力が実らなくても、それを真に受けて「自分は駄目」なんて思わないでほしい。人に笑われても気にせず、夢に向かって頑張ってほしいです。

子どものころに所属したミニバスケットボールチーム「松陵ドリーム」は、女子が全国大会に出場するなど活躍しています。



片岡 大晴さん(36歳・仙台89ERS選手)

かたおか・まさはる 1985年、仙台市生まれ。松陵中、仙台高、白鷗(はくおう)大卒(そつ)。2015年に仙台89ERSに入り、移籍(いせき)をへて、19年仙台に復帰。184センチ、80キロ。



出場につながる試合で敗れ、17年間続いたインターハイ出場を途切れさせてしまった。それでも、1人ではなかったし、両親の支えもあったから折れずに続けられました。両親はどんな時も応援してくれました。

今週の注目ニュース

◇8日(金) ホヤの日
宮城県が生産量日本一を誇るホヤをPRしようと、仙台市で飲食店を展開する飛梅が制定したんだ。「海のパイナップル」とも呼ばれるよ。4を「フォー」、8を「や」と読む語呂合わせが由来なんだって。

きょうの紙面

- 2面 ホップ・ステップ・プログラミング
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7・8面 投稿特集